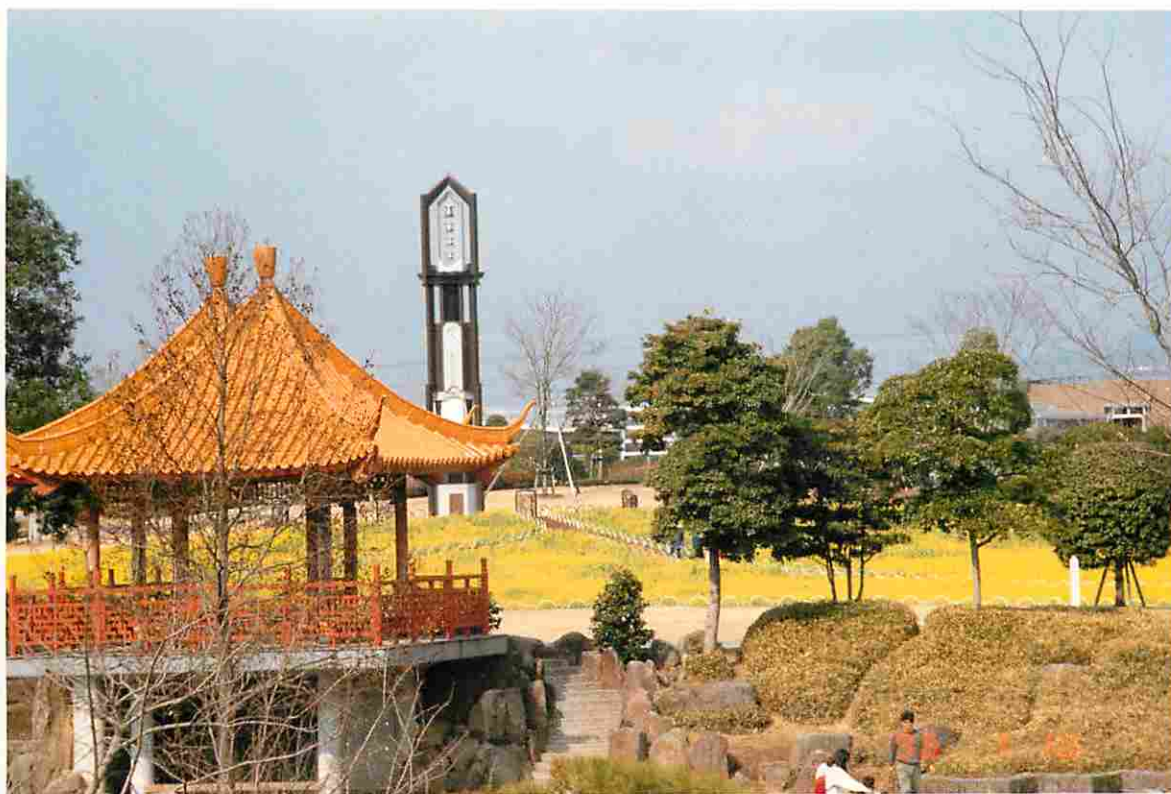


中 岳



新年懇親パーティー 入院者歯科診療説明会



目

次

年頭所感	中 根 俊 吾	1
新年懇親パーティー		2
救急蘇生法講習会		4
学術社保合同研修会		5
入院者歯科診療説明会		6
第21回ビデオ研修会		8
支部長会		9
税務説明会		9
委員会だより		10
Study	渡 辺 猛 士	12
川崎・中根両先生受賞祝賀会		15
忘れられぬ日々	吉 川 知 彦	18
学生時代の思い出	大 川 智 弘	22
薦めたい本の紹介	坂 口 貴 章	23
思い出の研修旅行	弘 中 一 郎	24
スポーツの広場		26
会務報告		27
協同組合だより		29
編集後記		

年 頭 所 感

地域歯科保健、福祉、医療の将来展望や 具体的な推進策の確立を！



会長 中根俊吾

年頭にあたり、会員各位並びに御家族皆様には、お健やかに新年をお過ごしになられた事と拝察し、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は会務全般に亘り多くのご教示とご協力を頂きました。殊に参議院選挙において中原爽日歯会長を名簿登載3位で当選という快挙は、皆様のご尽力によるもので、茲に改めて厚くお礼を申し上げます。

ご存知の通り、昨年の社会情勢は阪神淡路大震災にはじまり、狂信的な宗教団体の異様な事件に振り廻され、更にはバブル経済の後遺症としての金融不安など、激動とやりきれない思いの一年でした。本年こそは平穏な年でありますよう心から祈念するところです。

ところで、熊本市はこの四月より中核市へ昇格し、多くの権限が委譲され、保健、福祉についても、国の方針にならいつながらも、熊本市レベルの施策が打ち出されることになります。これに伴い、公益法人たる本会の責務も益々大きくなっており、地域歯科保健、福祉、医療の将来展望や具体的な推進策などの確立が急務であり、地域の人々の健康保持とQOLを高めることに努力しなければなりません。

今後も、今迄以上に関係機関との連携をとり充分な検討を加えながら、各々の責任分担を明確にし、地域社会の要請に添えていく所存です。そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力の程をお願い申し上げる次第です。

茲に、会員各位並びに御家族皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

丙子はチューチュー頑張るまチュー 新年懇親パーティー



恒例の熊本市歯科医師会新年懇親パーティーが1月27日(土)午後6時30分よりニュースカイホテル「すいしょうの間」に於いて行われました。

今年は可愛らしく「干支の始まり丙子でネットチュー」、「丙子はチューチュー頑張るまチュー」をテーマに、出席者160名のもと、奥田洋実厚生委員の司会進行により開会されました。

まず始めに中根俊吾会長より年頭の挨拶があり、来賓を代表して三角保之熊本市長(代読工藤磐熊本市保健衛生局々長)及び上田忠典副会長のお二方より祝辞を頂きました。続いて来賓の皆様の紹介が行われ、次に特別功労賞の表彰があり、今年は岩村泰行先生、川崎正士先生が受賞され、中根会長より感謝状と記念品の贈呈が行われました。受賞者を代表して、まだまだお若い川崎正士先生が謝辞を述べられました。その後、4名の新入会員の先生よりステージ上で自己紹介があり、みなさんお待ちかねの乾杯が菅原洋専務理事の音頭で行われ開宴となりました。

今年は料理にひと工夫しようということで会場の一角に「おそばコーナー」、「ぜんざいコーナー」を設けましたが、これがなかなか好評だったようでした。会話もはずんで宴もたけなわの8時には、これまた恒例のおたのしみ抽選会が、ニュースカイホテルの広田さんの司会で進行し、番号が呼ばれる度にみなさん一喜一憂でした。なお今回は厚生委員の当選が数多く、冷たい視線もあったようです。すべての景品がみなさんの手に渡され、アツという間に8時30分の終宴の時間となりました。

最後に、関剛一副会長の閉会の辞で本年のパーティーも無事終了しました。

なお、今年は若い先生方の出席が少なかったようです。来年は御出席をよろしく願います。

新年懇親パーティーでのワンショット



長い間ご苦労様です。これからも頑張ってください。



左の二方は下戸! 右の二方は上戸!



来賓を代表して一言。



大先輩方、今年もお元気で。



今年は冷た〜いビールで乾杯。



挨拶の長かー。たいざやオーバーしとるばい。



新入会員です。ヨロシク



「バンザ〜イ」は、できるだけ合わせましょう。

(厚生委員 有田俊昭)

ビデオとマネキン実習による「救急蘇生法講習会」

去る平成7年11月14日(火)、16日(木)の両日にわたり、救急蘇生法講習会が学術委員会、医療管理委員会の主催で行われました。合わせて150名を超す参加者で、会員の救急蘇生法に対する関心の高さがうかがえました。



マンネリ化を防ぐために、昨年から新しいビデオ「歯科診療室における救急処置」(アルファメディカル株式会社、日本歯科大学歯科麻酔学教室監修)に切り替えましたが、好評につき今年も同ビデオを教材とした講習会となりました。

内容は

- 1) 神経性ショック
- 2) 過換気症候群
- 3) 即時型アレルギー
- 4) アナフィラキシーショック
- 5) エピネフリン過敏反応
- 6) 狭心症
- 7) 高血圧症の患者に対する注意点
- 8) 気管内異物吸引の場合の処置

の特徴とそれに対する処置法を、臨場感あふれる俳優の演技で説明しています。

ビデオに引き続き、解説を学術委員の中原(14日)と小島(16日)が行いました。

解説では比較的頻度が高く、その処置がまったく逆(酸素濃度を上げるか、下げるか)になる過換

気症候群と脳貧血の鑑別の要点などビデオの補足を行い、あとの実習の要点について述べました。

実習では例年通りマネキンを使って気道確保、人工呼吸、心臓マッサージの練習が行われました。思い通りにモニターの目盛りが上がらない人、人工呼吸と心臓マッサージのタイミングがかみ合わない人など様々でしたが、皆さん真剣に汗だくになって取り組んでおられました。

マネキン実習を終えられた方は各自血圧測定、静脈確保実習、救急薬品の交換に移られました。

今回の反省点としてはビデオと解説、実習に対する時間の割り振りは適当であったものの、マネキンの準備に手間取って少々バタバタした感がありました。進行上の手際の悪さを申し訳なく思っております。この反省をふまえてマンネリにならず、いかに効果的な実習にしようか、次回以降の課題として取り組んでまいりたいと考えています。会員の皆様のご意見をお待ちしております。

(学術委員 清村正弥)

全部金属床義歯製作法のポイント及び 歯周治療(I型)のすすめ方 熊本市歯科医師会学術・社保合同研修会

去る平成7年12月16日(土)午後2時より6時まで、熊本県歯科医師会3階ホールにおいて熊本市歯科医師会学術・社保合同研修会が行なわれた。これは、熊本県歯科医師会学術委員会と社保委員会が共同で各郡市を回って行っているもので、この度熊本市でとり行われたものである。

研修会はまず中根俊吾会長の挨拶の後、早速講演が開始された。講師の一番目は県歯学術委員の永田省蔵先生による「全部金属床義歯製作法のポイント」。先生は診査、予備印象、精密印象、咬合採得、ゴシックアーチ、配列試適、セットの各ステップのポイントを豊富な臨床症例をもとに説明された。最後にまとめとして述べられた「総義歯ほど患者が評価できる歯科治療はない」、「総義歯ほど人類に恩恵をもたらした歯科治療はない」、「名人と呼ばれる人たちはどの人も総義歯は難しくないと言われる。みんなステップを踏んでいないだけだ」の言葉が非常に強く印象に残っている。オーソドックスな中にも聞かせるポイントが多く含まれた名講演であった。



県歯学術担当理事
中村 俊綱

二番目は県歯学術担当理事の中村社綱先生による「歯周治療(I型)のすすめ方」。先生はすでにこの分野では全国的に有名な方だけにその内容も濃くかつ幅広かった。口腔内診査から始まり、モチベーションの重要性、初診より行える処置、精密検査、初期

治療の実際、再評価検査、歯周外科からGTR法

まで、より臨床的、実戦的に解説された。

講演の中で県歯の学術委員の先生方が共同でまとめられたデータが発表された。歯周初期治療前後で咬合力はどう変化するかというもの



県歯社保担当理事
寺脇 博

であったが、初期治療後咬合力は明らかに向上しているというデータが得られていた。漠然と予測されるものを数値で具体化し、証明しようという取り組みの中に、すばらしい委員会活動の一端を見せて頂いた気がする。

三番目の原賀滋久県歯社保委員長は「PI型の社保取り扱いについて」という題名でI型の歯周治療を進めていくうえでの保険の取り扱い上の注意点を各ステップごとに詳細に説明され、四番目の寺脇博県歯社保担当理事は「保険診療における注意すべきポイント」という題名で保険請求全般について注意すべき点を述べられた。

4時間という長時間でありながらそんなに疲れも感じず、いろいろな勉強ができて有意義な研修会であった。

(学術委員 菊川明彦)

入院者の歯科診療の要望に応じて

入院者歯科診療説明会

本会は平成3年9月より熊本市の在宅寝たきり者老人等歯科健診を開始し、その後“デイサービスセンター長寿の里”歯科室に於いて、デイサービス利用者及び外来の歯科治療を行ない、熊本市の歯科保健医療及び歯科福祉の向上の為に今日まで努力してまいりました。

その成果は熊本市及び市民に多大な評価を受けており、又毎年毎年各地の保険医療機関、歯科医師会等の視察見学及び講演依頼に如実に示されていると思います。しかし、在宅治療をされた方々が入院された場合、又現在入院されている方々の歯科治療は十分と言えるでしょうか。この疑問とヘルパーさん方、入院患者本人及び家族の方々からの歯科治療の要望に対し、本会としても何とかしなくては行けないという事で、平成7年の7月より、熊本市医師会と何度となく、話し合いを重ねてまいりました。熊本市医師会のアンケート調査によると、開業医の先生の8割以上が入院患者の歯科治療に対し、協力されるという結果がでています。この度、医師会の全面的協力により、平成8年1月1日より“熊本市歯科医師会と熊本市医師会会員施設入院者歯科診療実施要項”にのっとり、本事業を開始する運びとなりました。

本会と致しましても、本事業に対し協力医の先生を募り、現在115名の協力医名簿を支部別に作成してあります。この協力医の先生方を中心に1月31日(水)7時30分より県歯会館3階において、説明会を開きました。当日は協力医の先生及びこの事業に関心を持たれている先生方80名が出席され、中根会長の挨拶に始まり、菅原専務より関連書類の説明が詳しく行なわれました。



菅原専務による関連書類の説明

(関連書類)

- ・熊本市歯科医師会と熊本市医師会会員施設入院者歯科診療実施要項
- ・熊本市歯科医師会入院入所者歯科診療内記
- ・手順略図
- ・入院者歯科治療申込書
- ・入院者歯科治療申請書
- ・覚書
- ・入院者歯科診療実施報告書
- ・入院者歯科診療事業協力医名簿

続いて、関副会長より在宅医療と入院患者の歯科診療の関連性及び継続性について述べてもらい、社保担当理事の小田先生に在宅医療に関して、症例別に保険請求の説明をして頂き、質疑応答となりました。この後、本会がモリタより購入致しました在宅診療用ユニット“ポーターケア21”の説明に移り、9時30分閉会となりました。



80名の先生方が出席された

さて、本事業は会員の先生方の協力なくしては実現できません。現在個人的に病院の入院患者の歯科診療を行なわれている先生は是非、診療報告書を市歯事務局まで送付して下さい。

又よろしければ、協力医に参加して頂ける様お願い申し上げます。又当日の質疑の中にもありましたが、まだ始まったばかりで不備な点も見受けられますので、毎月行なわれる運営協議会で一つずつ解決していかなければなりません。質問したい点がありましたら遠慮なく菅原専務、市歯事務局、私古賀の所までTEL、FAXして下さい。本事業が成功致します様よろしくご協力の程お願い申し上げます。

又、在宅診療用ユニットは市歯事務局に保管してありますので、どうぞ利用して下さい。

また熊本市医師会では本事業を「最近の熊本市医師会周辺の医療連携、病診連携の動向について」の中で、次のように紹介しています。

歯科医師会との医療連携に関して

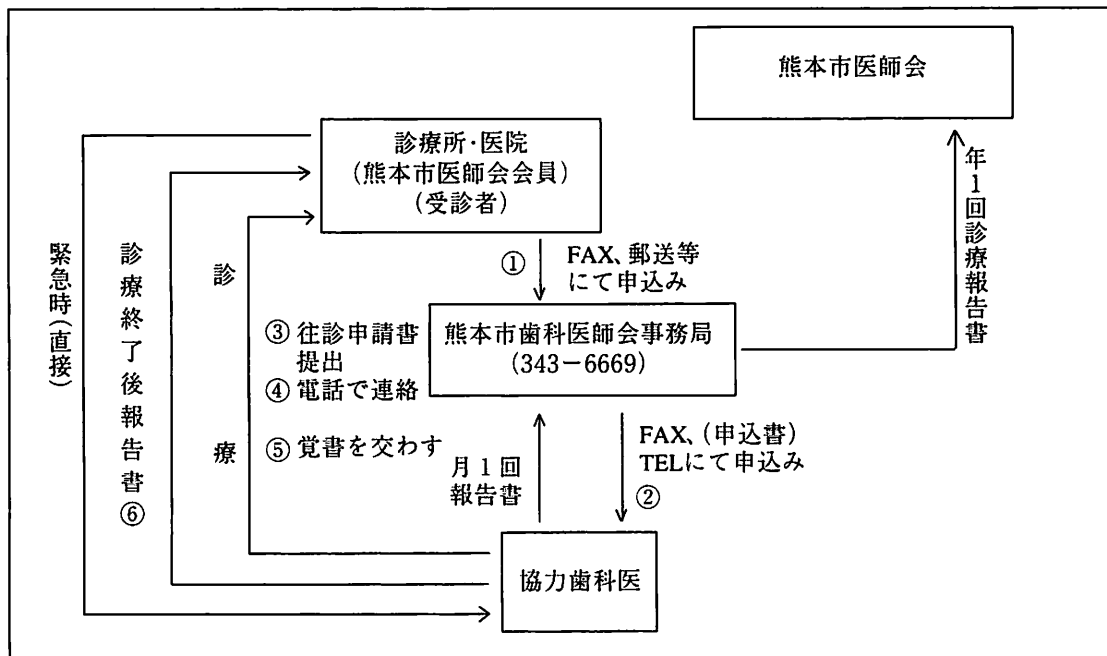
熊本市歯科医師会の「熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業」が全国で初めて平成3年に発足して6年目になり、着々と実績を積み重ねて現在では年間200名余り、延べ1,200回の寝たきり歯科診療を通じ、ADLの向上等、目に見える効果と評価が認められてきた。しかし、その在宅寝たきりの歯科診療対象者が病状の急変等で医療機関及び施設に入院、入所された場合、これまでは歯科診療が中断する状態になっていた。

この「歯科診療中断」への対応として、熊本市歯科医師会の要望を踏まえ、まず熊本市医師会でもこの件に関するアンケート調査をして80%余りの合意を得、充分検討し、下記のような協定書が結ばれ、平成8年1月1日より施行することになったのでご報告します。会員の先生方のご理解とご協力をお願いいたします。

(森都医報第540号より)

この後、覚書と入院者歯科診療実施要項が掲載されています。

〔手順略図〕



(常務理事 古賀 明)

第21回ビデオ研修会

「薬の飲ませ方のポイント」

第21回ビデオ研修会が1月23日(火)午後7時30分から熊本県歯科医師会館3階ホールに約50名の出席者を得て行われました。

先ず中根会長の挨拶の後、ビデオが放映されました。今回の教材ビデオは日歯生涯研修ライブラリーNo. 138「薬の飲ませ方」です。

解説する中原学術委員



内容は、

- 1) 全ての薬には副作用がある。
- 2) アレルギー性疾患が元々有る人はそうでない人に比べ薬疹の発現率が2倍になる。
- 3) ショック、喘息、薬疹の予知には皮内テストが有効。セフェム系、ペニシリン系の抗菌剤では皮内テスト陽性の場合、陰性のときに比較して35倍ものショック発現率となる。ただし皮内テスト陰性の場合でも1万分の1の確率でショックは発現する。
- 4) 交叉反応を示す薬物がある。アスピリンと酸性消炎鎮痛剤、セフェム系とペニシリン系がその代表。
- 5) 酸性消炎鎮痛剤は消化器粘膜出血を起こしたり、消化器潰瘍を悪化させる。
- 6) 水酸化アルミニウム製剤やマグネシウム製剤との併用はニューキノロン系やテトラサイクリン系抗菌剤の吸収を半減させる。
- 7) 同一抗菌剤の長期連続投与は菌交代現象による出血性大腸炎を起こす。
- 8) ほとんどの抗菌剤は偽膜性大腸炎をおこす

9) ニューキノロン系抗菌剤と酸性消炎鎮痛剤の併用は頭痛やめまいなどの精神神経症状を引き起こす。

10) ワーファリンカリウムとメフェナム酸の併用はプロトロンビン時間を20倍位延長させる。

11) 出血傾向の有る人への消炎鎮痛剤の投与は要注意。

ビデオに引き続き、中原委員による解説が行われました。

1) 投薬時の患者さんへの注意点として

薬品名、薬剤投与の意義、服用・使用法、副作用、他の医師にかかるときの注意事項、服薬に関する日常生活の指導、保管・管理上の注意を窓口で説明すること。

2) 歯科疾患に適用のある抗菌剤の分類としてペニシリン系、セフェム系、マクロライド系、ニューキノロン系の抗菌薬があり、適用のガイドラインとして、薬理・毒性、抗菌力、吸収・分布・排泄、各疾患への臨床効果、起炎菌に対する抗菌力、各領域への移行性、副作用・臨床値異常の有無、有用性を検討した上で投与すること。

3) 歯科感染症の分類として

歯周組織炎群、歯冠周囲炎群、顎炎群、顎骨周辺の蜂巣炎群の4群があり、それぞれの抗菌薬でその適応が決められているので注意を要する。

最後に投薬に関する社保解説が社保担当理事の小田和人先生よりなされ、1回の処方について、2種類以上の内服薬を調剤する場合に、服用時点と服用回数が同じなら1剤としなければいけないが、薬剤料の計算を別個にしてある例が散見されることが指摘された。

(学術委員 清村正弥)

● 訪問歯科診療への協力を ●

支部長会の報告



話もはずむ新年会

去る1月25日(木)、2ヶ月に1度の支部長会が開かれた。今回は新年ということで、鬼塚県歯会長、中根市歯会長並びに市歯執行部の先生方をお招きし、丸小ホテルにて行われた。

鬼塚会長挨拶では、来年度の九州歯科医学大会の概要説明がなされ、今回は学会色をうちだすため、イエテボリ大学のS. Nyman教授による

特別講演を用意した。皆さんの協力をお願いする。今日は新年会ということで、世間のことを忘れて楽しくすごしたいとのことであった。

中根会長からは、最近の低金利時代のあおりを受けて市歯の会計が単年度で赤字に転落しうである。そのため会費の見直しをする必要があり、次年度より検討したい。入院入所者の訪問歯科診療について在宅訪問歯科診療の延長として始める。全国的に注目をあびている事業なのでよろしく御協力を願いたい、などの説明があった。

その後、卓をはさんで各々新年のあいさつをかわしながら宴はすすみ、お開きとなった。今回の幹事、田中宏先生御苦労さまでした。

(南部支部長 古川猛士)

税 務 説 明 会



後藤統括官

去る2月2日(金)歯科医師会館にて中根会長の挨拶の後、税務所の統括官後藤氏により説明が行なわれました。『厳しい寒さで悪条件の中、説明会に参加して下さる先生方の税に対する取り組みの姿勢を評価し名

簿を持ち帰り参考にします』という話を始めに説明が始まりました。

(税法改正点)

- H7年より税率が改正された事
- 基礎控除が38万円となり引き上げられた事
- 給与所得者は103万円まで無税である事
- 給与所得者の年末調整の対象と確定申告を要

しない限度は2000万円に引き上げられた事

○特別減税について

○長期譲渡所得の課税の特例の改正

○政治活動に関する寄付をした場合の特例

○必要経費について

などの具体的な内容について解り易く説明がありました。

約一時間の説明後、「医療費控除について」などの活発な質問に対して「特に同じ家計の中で所得の高い人が医療費控除を受けた方が節税となる」などをざくばらんに説明されました。

出席された先生方には非常に好評でした。次回からも今回の様な説明会であってほしいという先生方の御意見でした。

(医療管理委員 鳥取孝治)

委員会だより

学校歯科委員会

第59回 全国学校歯科保健研究会

平成7年10月19日(木)20(金)の両日、名古屋市の名古屋国際会議場において全国学校歯科保健大会が開催された。『学校歯科保健の包括化』をメインテーマに、学校歯科保健活動を通じて『心豊かで、たくましく生きる人間の育成』という教育課題に貢献することを目指しているなか、本年は学校・家庭・地域社会の連携のもとに、幼児から児童・生徒の発達段階に即した歯科保健活動を確立し、生活化を図ることを研究協議した。

初日は1号館センチュリーホールで開会式が行われ、第34回全日本よい歯の学校表彰で、本県からは上益城郡矢部町立御岳小学校が授与された。愛知県歯科医師会から来年度の開催地となる東京都学校歯科医会へ、学校歯科の鐘の引き継ぎがなされた。



午後は女優の中村メイコさんの『私の生き方』と題した記念講演があった。内容といい話術といい実にすばらしく興味深いもので、1時間半がアッという間に過ぎていた。

次に『発達段階に即した歯科保健指導の展開』のテーマでシンポジウムが開かれた。

◇歯、口腔の発達や疾病・異常など、自分の歯や

口の状態を理解させる。

◇むし歯や歯肉の病気の予防に必要な歯の磨き方や望ましい食生活などの指導。

◇歯や口の状態を保つのに必要な態度や習慣を身につける保健指導。

以上のことには、養護教諭だけでなく学級活動(担任)の主体的な取り組みが必要とされる。計画的に個々に応じた、学校・家庭・地域ぐるみの保健指導の実践の必要性を唱えて締めくくった。

その後、1号館イベントホールで懇親会が盛大に行われた。

2日目は領域別研究協議会が行われ、私は小学校部会に出席した。それに先立って、名古屋市立大宝小学校で公開授業が実施された。



1年～6年の全15クラスで、それぞれの題材・単元名の授業と、体育館(研究のあゆみ・歯によいおやつ・パソコンによる歯の学習の各コーナー)、歯ビカールーム(委員会活動・歯肉炎予防・オーラビュー試用の各コーナー)が公開された。

授業時間前に全体をまわり、その後3年2組『むし歯の原因を知ろう』を見学した。このクラスには学校歯科医も講師として出席され、児童の屈託のな

委員会だより

い質問に理解しやすいように説明されていた。

名古屋国際会議場に場所を移動し『小学校における歯科保健指導の実践』をテーマとして、研究協議会が行われた。3校の研究発表で特に目をひいたのは、公開授業をした大室小学校の歯肉炎の児童を対象とした「ピチピチ教室」の活動だった。個々に応じた指導のために歯のカルテを作成し、児童の気持ちを大切にするため自己評価を取り入れた指導を進め、食生活の主たる実践の場である家庭との連携を図るためワークシートを活用し、歯肉炎の減少に取り組んだ発表はその名のとおり生き生き

きしたものであった。

三重県美里村立辰小学校では、実際に研究に取り組んでいらした校長・養護教諭お二人とも移動されてしまい、今回発表されたのは新校長であった。管轄は違うであろうが、このような公立学校のシステムには多少疑問が残るものであった。

午後2時から各研究協議会の報告、次いで全体協議会が行われ、盛況のうちに第59回全国学校歯科保健研究大会は幕となった。

(大園 正人)

歯ミガキ巡回指導

生涯にわたって健康で生きぬくために、学校における健康教育の果たす役割がますます大きくなっています。健康を保持増進するための教育や指導は、できるかぎり若いうちに実施して身につけさせることが大切で、小学校時代に身につけた健康習慣を自己管理のできる中学校時代にきちんと習得させる必要があります。



熊本市教育委員会と共同して行なっております歯ミガキ巡回指導を、平成7年度はライオン歯科衛生研究所より堤雅子、上田訓子の両歯科衛生士を招き、左記の日程で実施しました。

口腔保健指導では(1)歯の役目(2)歯牙の構造(3)むし歯の進行についての講義を受けて、ウ蝕に対しては初期のうちに処置を行なう必要性を理解してもらい、初期の歯肉炎は自分で治せること、予防には毎日の規則正しい歯ミガキが不可欠であることが説明された。その後スクラブ法(スクラッピング法)による刷掃指導が行なわれ、最後に全員で「食べたらずく」を約束して終了しました。

私の参加しました若葉小学校では、給食後に校内放送を使って歯ミガキ体操が熱心に行なわれているとこのとです。

「飽食の時代」と呼ばれる今日、食習慣の形成期にある学童期は特に大切にしなければなりません。学校歯科保健活動に歯科衛生士を加え、養護教諭と連携を図ればより効果的な保健教育指導が可能であると思います。

(津野田稔)

月 日	午 前		午 後
	9:45~10:30	11:40~12:25	2:10~2:55
10月18日(水)	中島小 全学年 325名	城北小 (5年を除く)635名	楠小 全学年 574名
10月19日(木)	高平台小 全学年 1004名	龍田小 全学年 1050名	西原小 全学年 859名
10月20日(金)	若葉小 全学年 733名	尾ノ上小 (5年を除く)829名	託麻東小 全学年 936名

アップライトの一症例

渡辺 猛士

この症例は17歳の女性で検診により右下第2大臼歯近心および第1大臼歯遠心面にカリエスが発見されたケースです。(図1~3)



図1



図2



図3

7の咬合面には1級のインレーが装着されており、近心隅角は6の遠心面の大きな齲窩に完全に陥入してロックした状態になっています。もしこのままで放置しておいたとすれば、近い将来確実に手が付けられない状態に成ることは容易に想像がつかます。そこで現状で可能な処置として考えられるものとしては、

- 1) 無理矢理6の遠心と7の近心をスライスカットして修復処置を行う。
- 2) 7を一度Ext.して再度理想的な位置に再植する。
- 3) 7をM.T.M.によりアップライトする事で対処する。

以上の3つが挙げられますが、1)については7の近心マージンは歯肉縁下となってしまう歯周組織の安定は得られず、更に咬合の安定も期待できない。2)についてはもし6のロッキングをうまく回避することができ、さらに7の抜歯が歯根のセメント質とその周囲の歯根膜組織を傷害することなく達成できたとすれば可能であると思われる。但し、それ相当の外科的侵襲は避けられない事となる。3)については患者さんの経済的負担と矯正治療にかかる時間さえクリアできれば特に大きな支障もなく、76共に理想的な結果を得る事ができるものと思われる。以上の理由により、この患者さんにはM.T.M.を行うことにしました。

今回は7のアップライトを行うに当たって、現実性があり操作が簡単でシンプルな装置としてマルチブラケット法を選択しました。7を動かす抵抗源(アンカー)には654を選択し、各歯牙にエッジワイズブラケットをスーパーボンドによりダイレクトボンディング法で装着、同様に7にバックルチューブを装着しました。ここで気をつけるべき事は、いわゆる通常の全顎矯正では各歯牙の辺縁隆線や咬頭の高さを均一にそろえることが目的であるために、歯牙の切端を基準にブラケットハイト(ブラケットの高さ)が決定され、また最近歯周治療でよく見られるようになった歯列の歯槽骨レベルを整えるための矯正治療においては、ア

タッチメントレベルを基準としてブラケットハイトが決定されます。それに対して、アップライト等の多くのM.T.M.においては動かしたい歯と動かしたくない歯がはっきりと分かれており、動かしたくない歯つまり抵抗源(アンカー)に対するブラケットの装着で要求されることは、歯牙移動の始まりから終了にいたるまでの期間を通して確実に外れない事、咬合や下顎の運動時に対合歯と干渉しないこと、可及的にワイヤーとブラケットの位置のズレなどから来る余計な力がかからないような、術者にとっても楽なポジションに装着すること等があげられます。つまりブラケットの溝(スロット)が各アンカーの歯牙に渡って一直線になるように設定しておいて、出来るだけストレートなワイヤーを入れることが出来るようにしておけば、後でワイヤーを入れるときにあまりベンディング(曲げること)する必要が無く楽にワイヤーを作ることができます(この部分で歪みを生じると抵抗源の歯牙が動いてしまう)。要するに抵抗源の歯牙はブラケットとワイヤーによって一固まりの不動な歯群となるように設定すれば良いわけです。

次にワイヤーを作成するわけですが、ワイヤーを選ぶには通常の矯正治療の場合のようにストレートなワイヤーの弾性を利用する場合には、なるべく柔らかい細めのワイヤーから始める必要がありますが、本症例のようにもっぱらワイヤーに組み込んだループの弾性のみを利用し、しかも抵抗源となる各歯牙をつないで加强固定しようとする場合にはある程度の太さのワイヤーを選ぶ必要があるでしょう。また、ワイヤーにループを組み込む場合には丸い断面のワイヤーよりも四角い断面のワイヤーの方がループの力の方向が安定するし、セット後ワイヤーがブラケット内で回転するというトラブルも防げるのでよろしいでしょう。

この症例では、016×022インチの角形コバルトクロム合金線を用いることにし、固定源の歯牙の部分

ではワイヤーを入れる事によりそれらの各歯牙に力がかからないように各ブラケットに対して受動的(パッシブ)にフィットするようにワイヤーを曲げ、固定源と動かしたい歯牙7との間に矯正力を生じさせるために、バーチカルヘリカルループ(図4)を設定し、さらに7の歯根を回転させる力を発生させるためにループを中心としてその近心と遠心の部分を歯頸側に向かって約35度曲げるように設計しました。(図5)

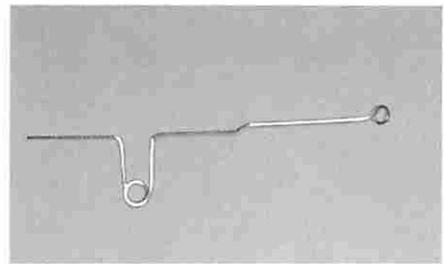


図4

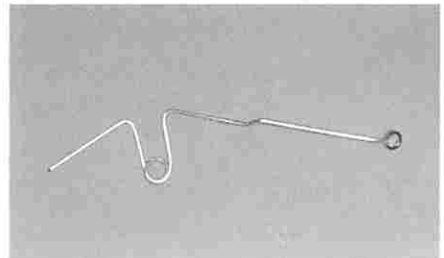


図5

図6はM.T.M.開始の時の写真で、6のブラケットの位置が歯面の都合で54のブラケットよりも歯頸側に来ってしまったために、ワイヤーの65間に高さを調節するためのステップバンドを設定しました。



図6

Study

図7は開始から約二カ月の写真で、バーチカルヘリカルループが歯肉を圧迫していたらしく歯肉にワイヤーが完全に埋まり込んでしまっており、一度ワイヤーを外して修正し再度装着しました。



図7

図8、9は開始から三ヶ月めの写真です。またワイヤーがうまりこんでしまいましたがこの日をもって歯牙移動を終了することにしました。



図8

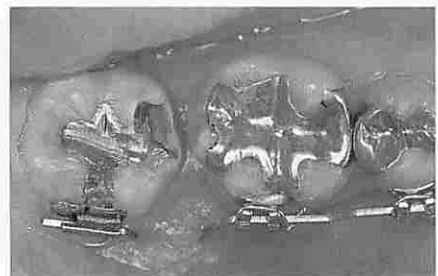


図9

図10～12は修復処置終了時の状態です。もう少し7の歯根を近心に寄せたいところですが、そうするために抵抗源となる歯牙を前歯を含んでさらに数歯増やす必要があることと、治療期間があと数ヶ月かかることについて患者さんならびにそのご両親と

相談の結果、今回は歯牙移動はここまでとして修復処置にうつることになりました。ただし7の近心の自浄性、清掃性があまり良くない事について詳しく説明したところ、76間の歯間ブラシの使用はずっと続けることに同意してくれました。



図10

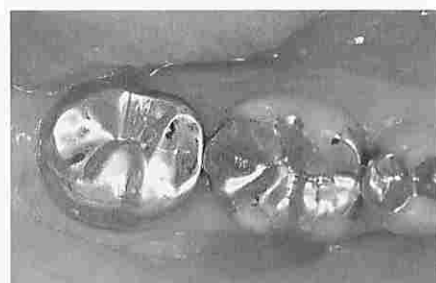


図11



図12

今回は、M.T.M.の中でも最も頻度が高いと思われるアップライトについて症例を通して簡単に解説してみました。ややアンダートリートメントな感もありますが、術前の状態と比べればかなり満足のいく状態になったものと思われます。筆者にとっては再度カウンセリングの難しさを痛感する症例となりましたが、それも含めて少しでも諸先生方の参考になればと思い書かせていただく事にしました。

会員であればこそその誉れ高い受賞

—川崎正士・中根俊吾両氏大臣表彰受賞祝賀会報告—



既に御存知のことと思いますが、前市歯会長で現在県歯副会長の川崎正士氏、市歯会長の中根俊吾氏が各々厚生大臣表彰、文部大臣表彰をうけられました。これは永年にわたり地域歯科医療並びに学校歯科保健に貢献寄与されたことを顕彰したものであります。

この栄誉をたたえるために有志による祝賀会が企画され、さる2月4日(日)午後1時よりホテルニューオータニ熊本「鳳凰の間」において催されました。日曜のお昼という時間帯にもかかわらず、240名近くの出席者で会場は満杯となりました。

実は、西田健吉氏の勲五等雙光旭日章受賞をも祝う予定であったところ、氏の体調不良のため辞退されたとの報告を兼ねた開会挨拶が菅原洋専務理事よりなされ、ひきつづき司会進行を同氏が担当された。世話人を代表して前宇土郡市長の松本文雄氏が挨拶にたたれ、しゃべりたいことはたくさんあるが…といいながらも上述した祝賀会の主旨を述べられ、両氏を讃えながら3分以内で話をしめくくられた。

次に両氏の経歴紹介を堤直文県歯専務理事が、祝辞を鬼塚義行県歯会長が述べられ、受賞は会員皆の喜びであるといわれた。同窓を代表して上田忠県歯副会長(九歯)、北田賢次郎県歯副会長(東歯)がそれぞれ川崎、中根両氏へ記念品目録贈呈を行なった。同門会を代表して有田俊昭氏から川崎氏、松本光示氏から中根氏へ花束が贈られた。つづいて両氏による謝辞、川崎氏はこれからも地域歯科医療に貢献できるよう努力をつづけたいといわれ、中根氏は今回の受賞は歯科医師会会員であったればこそ頂いたのであるといわれた。ひきつづき澤田稔氏の乾杯とともに祝宴となった。つぎつぎにでてくる料理に盃を重ね、いつの間にか時計の針が3時半を指すころ、山室紀雄県歯監事の万歳三唱のあと、関剛一市歯副会長の閉会の辞でお開きとなった。

退出の際、川崎、中根両氏よりお礼の品を一人一人に手渡されていたが、中味は国語辞典でありました。井上ひさし氏ではありませんが、私も辞書を枕頭の書にしているものですから、なによりの品でありました。

(広報委員 古川猛士)

『厚生大臣表彰を受賞して』

川崎 正士



去る平成7年11月24日、東京での第16回全国歯科保健大会に於て、厚生大臣表彰受賞に浴した事は私にとっては最高の荣誉であり又喜びであります。然し受賞が私個人のものではなく、現在迄私と共に会務に携り執行していただいた会員諸先生方を代表して私がいただいたものと考えます。私だけが受賞するのは勿体なく、皆さんと共に喜びを

川崎先生大臣表彰

小柳 大明

2月4日(日)午後1時より、ホテルニューオータニ熊本にて、川崎正士先生の平成7年度厚生大臣表彰の祝賀会がありました(中根俊吾先生の文部大臣表彰と同時に)。

多くの出席者があり盛大でした。両先生のお人柄の良さがうかがわれる一面ではなかったでしょうか。

承るところによると、表彰は各都道府県より2名以内、つまり全国で100人にも満たない人達だそうです。それゆえに、川崎先生のお喜びはひとしおかと察します。我々同門一同も我がことのように喜んでいきます。

さて、私どもは川崎歯科医院に一定期間勤務した者で、その後OB会を結成しています。現在では、県内はもちろん福岡、鹿児島において、先生

分ちあうべきものだと思います。

全国歯科保健大会は厚生省並びに日本歯科医師会主催のもとに、毎年各地に於て挙行され第16回大会は神戸開催の予定が震災のため急遽変更され東京開催となり『8020で健やか長寿』をメインテーマとして生きがい支える保健医療福祉の連携が提唱されました。

我が国の高齢化社会に対し、誰もが健康で心豊かに生活出来る社会を作り出す事が国民の願いであり、又関心事であろうかと思ひます。これに答えるためにも私共歯科医が医療の一部を担い歯科保健サービスの充実を図らねばならぬと思ひます。

厚生大臣表彰は各県より個人1名又は2名、団体12団体、日本歯科医師会長表彰個人35名、団体1団体表彰の外、第44回『母と子の良い歯のコンクール』優秀賞母子6組の表彰を終り、最後にハッピースマイル嬢4名の健康美と若さあふれた美女の紹介があり歯科保健大会も盛会裡に終了しました。

の「教え」をバックボーンにそれぞれが独立開業しています。その数は20名前後になります。

ところで、先生の特徴を挙げると、他の追随を許さず公私にわたって「人の面倒見が良い」ということに尽きると思ひます。これは一度御面識のある方ならば、うなづかれることでしょう。

我々同門はいつもながら、きめ細かい御指導をして頂いており感謝しています。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

同時に、大乘的な見地にお立ちになり難問山積する歯科医師会のために増々御活躍されることを祈念します。

最後に、表彰者だけが目立つのはいつものことですが、内助の功、つまり奥様(美岐子様)の御尽力を忘れてはいけな思ひます。

どうぞ、御夫婦でいつまでもお元気に御活躍して下さい。

『文部大臣表彰を受けて』

中根 俊吾



今回、図らずも文部大臣表彰という栄誉に浴しまして、身に余る光栄と存じます。

「大きなリーダー“中根先生”」

西川 庄次

中根先生「文部大臣表彰受賞」おめでとうございます。先生の御活躍からしますと遅きに失した感さえあります。

私が御世話になりましたのは、まだ歯科医になりたてで、丁度、長女が生まれた月でした。その長女も歯科の道を歩み始め、はや21才になりますが、先生のお姿は鮮やかに思い出されます。ひょっ子の私は先生の全てがお手本であり、特に“患者さんに対するスマートな優しさ”はまさにカルチャー・ショックでした。無粋な私には到底、真似出来るものではありませんが、その精神・思いやりのある態度は生涯心にとどめ、真似るように努めます。

思えば、先生に沢山の御迷惑、御心配をおかけしました。伝麻の失敗、投薬の誤り等々、歯科医として、これからやっていけるのかと自信をなくしたりしましたが、よき御指導をいただき、歯科医として今日に至っております。感謝せずにはおられません。また、忘れられない御恩として、次のようなことがありました。先生から独立して水前寺で開業しました昭和50年のある土曜日でした。その日の診療も終わろうとする頃に、激しい痛みを訴える患者が来しました。出来る

池田小学校の歯科校医として、永年に亘り携わっては参りましたが、この間、なんら特筆すべき貢献もなく、この受賞は私にとりましては、誠に汗顔の至りと申すほかありません。これはひとえに、良きご指導を賜りました諸先輩をはじめとする会員皆様方のおかげであり、この受賞も、学校保健にご尽力いただいている歯科医師会会員の全てに対して行なわれたものだ、と認識しています。

今後、これを契機として精進して参る所存でありますので、皆様方の旧に倍するご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げまして、受賞のことばいたします。

だけの処置は尽くしましたが、患者は痛みで転げ回らんばかりです。万策尽きた私はパニックになりました。助けを求めて、先生の指示だけでもとお電話しましたところ、先生はすぐ駆けつけて下さいました。土曜日はよくゴルフに行かれておりましたので、その日のゴルフはどうなったのでしょうか。忘れられない御恩の一つです。誰でも出来ることではない、なんと度量の大きな、頼りになる先生かと思いました。

今、放映されている大河ドラマ“秀吉”を見るたび、私は中根先生と秀吉がダブリます。豊臣秀吉でなく羽柴秀吉とす。秀吉は豊臣になってからは性格が変わり、あまり好きではありません。いつの時代でも、人は権力を握ったり、ポストにつくと性格が変わるものかも知れませんが…。まだ若い時の秀吉と先生を重ねてしまうのです。よく似た所があると思うのです。先生は周りの人から慕われておられます。秀吉のようにえらぶらず、人の嫌がることを率先して引き受けておられます。また、「義経百首軍歌」のなかの「大将は人に言葉をかけよ」のように、よく声をかけられます。それも気持ちよく響きます。とにかく清濁併せ呑んだ上で、歯科医師会のために御活躍される頼れる、良き大きなリーダーだと思います。

これからもお体に気をつけられ、我々歯科医師会のためリードして下さいをお願いいたします。

忘れられぬ日々

あの日が私の第二の誕生日

－ 第一回 真珠湾攻撃前夜 －

吉川 知彦



かねてより、支払基金専任審査委員である吉川先生の戦争体験は貴重なものだということをもれ聞いていたが、中根会長の胆入りで、当時の詳しい話をうかがう機会が得られた。正月気分がようやくぬけようかという1月19日、午後6時30分坪井の「花埜」にて中根会長、蔵田理事他広報委員4名で吉川先生をお招きして話をお聞きすることとなった。詳しくは本文を読んでいただくとして、その話の中で吃驚することは、ハワイ真珠湾攻撃から始まり南太平洋、ミッドウェイと大海戦を生きてこられたこととあります。そしてこれらの戦地を体験された唯一の歯科医であるということとあります。特にミッドウェイ海戦において乗艦されていた「飛竜」の最後と、艦と運命を共にされた加来艦長の話は壮絶さをきわめていました。またそのしめくりの言葉として「あの日が私の第2の誕生日だと思います」という一言が強く心に残りました。

－ はじめに －

中 根：今まで断片的に伺っていましたが、いわゆる太平洋戦争、私からいいますと大東亜戦争ですが、開戦当時旗艦の赤城に乗艦されていたということで、今日はぜひその話をお聞きしたい。戦後50年ということで去年がひとくぎりだったようですが、やはりその歴史の重みをということを考えますと、大東亜戦争は日本にとってひとつの区切り、替り目だったのではないかと思います。その辺のところを先生のお話をお聞きして、我々もちゃんと記録しておく必要があると思います。後世に残せるところは残しておく必要があると思います。御存知のように歯科ペンクラブでも歯科医師の従軍戦記などを残しています。県内、熊本市内でも会員の先生方が従軍なさっているわけですが、その辺のところはよくわからない状態です。以前会報に坂口先生よりシベリア抑留について何回か書いてもらったことがありますが、

吉 川：シベリア抑留は多いですね

中 根：それについて詳しく書いてもらっています。

数回連載しています。ああいうのを拝見すると我々

の知らないところでいろんな御苦労をなさっていると思います。その辺のところをお聞きしたいと思いますが、さて、昭和16年12月8日、西暦でいうところの1941年12月7日ですか、開戦当時先生はどこにいらっしゃったのか、まずお伺いしたい。

－ 海軍に志願して －

吉 川：はじめから申しますと、私は昭和14年、卒業してから福岡岩田屋デパートの歯科室に勤務しました。周囲がどんどん召集されていくなかで、私は(兵役検査の)丙種合格だったので(応召はありません)。しかしこのままデパートにおったところでどうもならないと思い、ちょうどいここが海軍軍医をしておる関係もあり、彼にすすめられて海軍に歯科で志願しました。当時はまだ歯科軍医制度というものはできていなかったんですが。そうしたところ採用されたわけです。すぐに電報がきて、「第2艦隊司令部付きに命ず。準備でき次第ただちに出発されし」となりました。

中 根：昭和15年、風雲急を告げていたんですね。

吉 川：15年1月でしたか、それですぐに出発することになりましたが、博多におりましたからとりあえず熊本に帰りました。行先は、呉の海軍病院にいつ

て海軍鎮守府に聞かれたしと言われたわけです。艦隊行動は秘密になっているものですから。

私は海軍のかの字も知らないで、まだ背広をきたままでしたが、呉まで行って尋ねると、君の乗艦する第2艦隊は今伊勢湾におるのでそこへ行け、とのこと。それですぐ名古屋へ行き伊勢湾の蒲郡にたどり着いたが、沖を見ても艦はいない。そこでどうしたらいいかと呉に電報をうったら、「今横須賀にいます、横須賀鎮守府に聞かれたし」という。行ってみたがそこにもいない。それで再度聞くと「第2艦隊は今、千葉の館山にいる」とのこと。それでまた汽車でトコトコ行ってようやく第2艦隊司令部をみつけました。そこで着任報告をしましたら、「お前よく来た。お前の乗る艦は今横須賀にいます。すぐに横須賀へ行ってくれ」と言われた。しかし来たついでに全員に挨拶していけと第2艦隊の司令長官からいわれ、第2艦隊司令部に伺候を行なったわけです。入っていったところが、参謀からズラリ勢ぞろいしている。司令部付きですからそこで全員に着任の挨拶をしました。その時お前金もっているか?といわれまして、なにしろずっと追っかけてきたわけです。いや少しはあります、と答えたら、もしないなら貸してやるぞと言われました。それはやさしかったですよ。その時はまだ背広のままです。そして背広のまま艦に乗ったわけです。ようやく蒼竜という艦にのったわけです。のってから3日目ですか、すぐ出航となりました。何



の軍事訓練もなしです。身分はですね、第2艦隊司令部付歯科治療嘱託として、待遇は奏任官待遇といいまして、士官待遇なわけです。そして乗艦に際して、歯科の材料一式全部準備してくれといわれました。そこで海軍の工場にいき、ユニットから歯科材料などを半年分、全て自分で手配したわけです。

中 根: そうすると蒼竜には全く何も設備などはなかったわけですか?

吉 川: はいそうです。ただ部屋だけは確保してありました。士官病室をですね、歯科治療室にするからそこで準備してくれと。

中 根: 士官治療室というのは一兵卒を治療するんじゃなくて、士官だけを治療する、士官だけを対象として…

吉 川: はいそうです。士官だけでの病室です。航空母艦にはですね、艦が広いもんですから士官病室は大体ベッド4床くらいありました。それから赤城なんかになりますと、兵隊用の病棟のベッドは30くらいありました。

中 根: そんなにあったんですか。

吉 川: それから軍艦にはいろいろ外科担任艦、歯科担任艦、内科担任艦、レントゲン担任艦などありまして、レントゲンの担任艦はレントゲンの器械一式全部そろえてるわけです。そこへ行ってレントゲンうけるとかですね。外科担任艦は、軍医長が外科系でした。

私は歯科ですから歯科の話をする、そのころ歯科の治療担任艦は第2艦隊に歯科医は2人だったんです。私の他に一人です。それから第1艦隊に歯科は3名でした。全部で5名乗ったわけですね。ある面からみたら貴重な存在なわけです。

中 根: 貴重な話は又あとでたくさんでてくると思いますが…貴重な存在だったために何をされたかとか…それで蒼竜に荷物をつみこんで…

吉 川:はい器械一式もですな、ユニットもモリタのりっぱなシャンデリア付のものでした。それにエアタービンもありましたからね。

中 根:その当時エアタービンがあったんですか!

吉 川:ただ当時艦は直流です。タービンとかユニットは全部交流仕様ですから、変電器まで用意しました。その上歯科の器械は水を使いますが、艦には何もないですから天井に水タンクを取り付け、そこから流すようにしました。水タンクから準備したわけです。

中 根:えらいことだったんですねあ

吉 川:そして軍艦というのは防水隔壁がしっかりしてまして、そのため穴をあけられない、ユニットの固定ができないため、天井にボルトで固定した。大変苦労しました。

中 根:そりゃあ今の先生たちは簡単にタービンのユニットのと言うけど、あの当時はどうして

吉 川:はい、それをですね、当時は技術屋が全然いないから自分でやるわけです。組立から。上手になりましたね。それから、半年間のセメントとか材料をどれだけ使うかわからないわけです。

中 根:備蓄量がですね。蒼竜の乗組員は何人くらいだったのですか。

吉 川:約千五百名ですか。

中 根:ウーン!蒼竜というのは航空母艦ですか。

吉 川:そうです、母艦です。私が乗ったのは、蒼竜、飛竜、赤城、加賀、翔鶴、瑞鶴。

中 根:へー壮々たるもんですねえ。

— 仏印へ、ハワイへ —

吉 川:全部航空母艦です。

そしてすぐに出航し、大阪、沖縄へいき、アモイへ行きました。丁度支那事変ですから、その上陸作戦支援として参加、戦時勤務ですね。その後台湾のキールンに寄港しました。内地に帰ってしばらくした後、今のベトナム、カンボジア、ラオスあのあたり一帯、昔は仏領インドシナといいま



したが、その進駐作戦というものがありまして、ハノイへ。これは15年始めです。それから秋は南のサイゴン上陸作戦支援。護送船の支援のため蒼竜、飛竜の2艦で守っていったわけです。横須賀よりすぐ澎湖島の馬公へいき、海南島へ集結、サンアというところですがキレイな白砂です。な、もう治療どころではなかったです。治療はしてはいましたけれども、それで内地に帰り、16年の真珠湾にむけて準備に入るわけです。16年の夏、鹿児島島の志布志湾に集結し、そこを真珠湾にみたてて訓練したわけです。早朝から出航して種ヶ島の沖くらいから飛行機を発艦させて、鹿児島上空から桜島めがけてつつこんでいくんですから。その訓練が毎日毎日行われました。蒼竜には飛行機は艦上戦闘機、水平爆撃機(電撃機)、急降下爆撃機の3種、全部で70機くらい積載してたと思います。これが翔鶴、瑞鶴となりますとまたひとまわり大きくなります。これらは正規の空母ですが、赤城、加賀というのは昔の八八艦隊の戦艦を空母に改造したもので能率は悪かった。それでも5万トン以上はありましたけれど。

発着甲板の長さは200m以上あります。はるかかなたですよ。巾は28~30mくらい。もう運動場です。

16年夏から訓練が始まって、総仕上げは南洋諸島(サイパン、パラオ、トラック、マーシャルなど)で行ない、11月始め瀬戸内海に集結。ハワイ出撃が決まる。

中 根:そういうのは知らされていないわけでしょう。
吉 川:全然知らされてないです。ただ私は士官
室にいて飛行士と一緒に飲んだり騒いだりして
ますから何となく耳にはいつてきました。

準備は大変だったですよ。仏印作戦の時はそう
たいしたことはなかったですが、今度は救命ボ
ートは全部おろし、空室には重油をつみ、防寒服、防
暑服を積んでいる。航路が長くなるんだと思い
ました。後から考えると当然で、シタカップ(千島列
島)からハワイへ行って帰るまでどこにも寄港し
ていないんです。その間の燃料は膨大なものです。
それで内地を出発したのが11月7日でしたか。

中 根:それからトラトラになるわけですか?

吉 川:いえ、まだそれは早いです。繰返しますと、
佐伯湾をバラバラに出港し、佐世保に寄って不用
物件、可燃物などをおろしてしまいました。救命
ボートもおろした。それで私は、これは沈められ
たら助からんばいと思いました。さらに遺言を
書け、髪を切って残しておけ、と言われ、丁度佐世
保にいた妹に託しました。再び佐伯湾に戻り、連
合艦隊長官山本五十六元帥に見送られて出航で
す。行先はエトロフ島のシタカップ、そこへ着くと
艦隊がズラリあつまっていた。

中 根:そこでズラリとそろっているのを見て、これ
はもう日米開戦だ、というのは思われましたか。

吉 川:いや私はもうわかってました。

そこへ行くまで無線は封印。そして鹿屋、鹿児
島、出水などの海軍基地に艦がおるように偽の
電報を打つなど偽装工作をしてあの付近で訓練
しているようにアメリカに思わせてた。

実はシタカップにいる。そこに集結して、いざ出
発となる前日、艦長が司令官等を集めて今よりハ
ワイを攻撃する、ただ12月2日の御前会議で開戦
が決定すればそのまま行く。不戦ならば戻ると。そ
こでいよいよ腹をくくったわけです。ハワイとかと
んでもないところへ行くなあと思いました。

中 根:あの頃日本をとりまく情勢はきびしかった
ですからね。一番こたえたのが経済封鎖。

吉 川:そうです。経済封鎖で油を全部止められた
もんですから。ABCDラインですね。このため日
本に物資が入らなくなった。

中 根:あれはですね、昭和8年松岡代表が国連を
脱退した時の裏話によると、経済封鎖はできな
いだろうとよんで脱退した。ところが案に相違し
て実施されてしまったということです。

(続きは中岳93号に掲載します)

経 歴

昭和14年3月九州歯科医学専門学校卒

昭和15年1月海軍省嘱託(歯科)

第二艦隊。第一航空艦隊。第三艦隊

昭和18年2月湊海軍病院

昭和19年7月任海軍歯科医大尉

海軍軍医学校付

昭和19年8月湊海軍病院

昭和20年12月国立霧島病院

昭和21年5月国立玉名病院

昭和21年10月国立熊本病院

～昭和60年3月

昭和60年5月熊本県福祉生活部保険課

昭和61年4月熊本県社会保険支払基金

昭和22年国立熊本病院附属看護学校講師

～昭和60年3月

昭和25年3月熊本大学医学部附属看護学校講師

～昭和35年3月

昭和49年熊本看護専門学校講師

～昭和58年

昭和32年4月国鉄共済組合診療報酬請求審査委員

～平成元年3月

昭和32年6月熊本県社会保険支払基金審査委員

昭和60年6月熊本県国民健康保険審査委員

学生時代の思い出

ラグビーとの出会い 妻との出会い

大川 智弘



私の学生時代にはいろいろな思い出がありましたが、特に印象深い思い出の中でも、すばらしいと感じた思い出を2つ、とてもショックだった思い出を2つ代表してお話します。

ショックだったのは、まず

私が大学1年生の終り頃に、常にエールを送り、またそのエールに期待通りに応えてくれていたプロボクサーの具志堅用高が、世界タイトル戦でKOされてチャンピオンの座を去ったことです。それも初めての故郷沖縄でのタイトル戦でした。具志堅のファイトは私にとってつらい時のはげみになっていたのでこの敗戦はショックでした。もう一つのショックは進学から学部への進級ができずに留年したことです。高校からストレートで九歯大に合格した私は、熊本高校時代いいかげんにしか勉強をしておりませんでしたので、大学に入ってからその気持ちが抜けきれずに大変生意気でした。今考えると留年は、「お前はいいかげんにせよ〜」という神の声だったと思い、今でも深く反省しております。

次にすばしかった思い出を2つお話しします。一つめは、ラグビー部との出会いです。留年したおかげで7年間もラグビーをさせていただき、その間キャプテンも努めることができ光栄に思っています。実力のほどはそこそこのものでして、7年間のうち2回、福岡県代表として九州地区大会へ出場することができました。現在でも社会人リーグ(熊本県リーグの一部)でやっておりますが、ここ2年ほ

どは戦力ではないようで私にはあまり声がかからなくなりました。

もう一つのすばらしい思い出は、少し思い出というにはおかしい気もしますが、現在の妻との出会いです。妻は九歯大の後輩で水泳部に入っておりまして、同じ体育会系ということで知り合い、つき合い、そして妻が大学を卒業した年の秋に結婚しました。

妻は九州から遠く離れた茨城県の出身でして、縁もゆかりもない熊本に来てくれて感謝しております。私は自分で決めたことは、GoForwardの精神でつっぱしる性格ですが、何もいわずについてきてくれる妻に出会えたことは、自分の人生におい



(大分湯平にて)

て本当によかったと思います。

以上が私の大学時代の印象に残る思い出です。

写真は、大学卒業後、結婚し、最初の子供が生まれて初めての夏に、九歯大ラグビー部の合宿に参加した時のものです。

薦めたい本の紹介



「人間の研究」

船井幸雄著

坂口 貴章



恩師に「よき医療人たる前によき人間であれ」といわれ自己啓発関連の本を何冊か読みその中で最も感銘を受けた本の一つ、船井幸雄氏の「人間の研究」を紹介させていただきます。

この本の著者船井幸雄氏について簡単に紹介すると、船井氏の本業は著術業ではなく株式会社船井総合研究所の社長です。船井総研は経営コンサルタントの会社として世界でただ一つの株式上場会社です。だから氏のいう言葉は空理空論ではなく現実の社会にすぐ役立つものと思われます。

世の中の構造を知り天地自然の理を知り、生き方(思考法や行動)を正しくするとすばらしい世界や将来をつくれる。そして日々生きるのが本当に楽しくなる。人生は楽しく生きるのが正しいし、それはどんな人も「心がけ」と「行動」を少し工夫すればすぐ可能である。又この世におけることがらはすべて必然必要で、偶然や不要なことなど一つもない。このノウハウをわかりやすく解説したのが次の上等な原則的コツ十ヶ条です。

①単純化して考え単純に実行しよう

②長所を伸ばそう

長所を伸ばすと短所が消えるので短所を補正したり欠点や弱点を直そうとするのはやめよう。又運をつけるには運のいい人、いい会社、いいものなどいわゆるついているものとつきあうことです。

③前向き、積極的、プラス発想で生きよう

人間は興味をもち好きなことで自分のためにプラスになることなら、そのことに楽しく取りくめ

ば効率もよいし成果もあがる。「上手に生きるには、趣味を仕事にするのが最もよい。それが不可能な場合は自分の仕事を趣味にしよう」

④喜ばせよう

相手の長所をうんとほめよう。長所伸展法の助けにもなります。

どんな人にもよい行為やよい点があります。どんどん認めてあげよう。

人の言葉や要求行為で受け入れられることは受け入れよう。

⑤恨まれることはしないでおこう

他人を否定したり批判したり非難することはやめよう。

⑥大事にしよう

お金を貯める人はお金を大事にします。

植物や動物を大事にすると必ず応えてくれます。

人材を育てるのが上手な人は人を大事にする人です。

⑦約束は必ず守ろう

「あの人は約束を守る人だ」と他人から信じられるだけで運がよくなるものです。

⑧学びぐせをつけよう

大事なことを知っておいた方がよいと思うことは絶えずメモをとることです。読書ぐせをつけることです。

⑨思いやりぐせをつけよう

⑩完全志向のくせをつけよう

人として生まれてきた目的は、効率的に人間性を高め、社会に貢献することです。その為に上等のコツを知り実行しましょう。

私も上等のコツを一つずつでも身につけて、人生を楽しく生きてゆけたらなあと思います。

イエテボリ紀行

弘中 一郎



飛行機酔いと時差ボケで、とにかく気持ち悪かった。コペンハーゲンの澄みきった冷たい空気が肺を清め、頭痛を少し和らげてくれた。ヨーロッパでも指折り

の、この美しいスカンジナビアの国々が、私の初めての海外旅行であった。

平成元年8月、スウェーデンイエテボリ大学の臨床歯周病のセミナーを受けるため、苦手な長時間飛行も我慢した。その頃は、別段ペリオに興味があったというわけではなく、勤務先の病院の方針に従ったというだけのことであったが、リンデ教授の講義は自分がこれからどういった歯科医になるべきかということを考えさせ、決定づけてしまうほどの影響を与えてくれた。大学時代は講義に少しも興味を持てなかったのに、これ以降食欲に講習会に出かけるようになる。もっとも好みと偏りがあったけれど。

同行は院長と同僚2名だった。院長以外は誰一人煙草を吸わないのだが、院長のわがままで禁煙席のビジネスクラスから喫煙席のエコノミーに移されることになった。煙草を吸わない者にとってこの副流煙は乗り物酔いを加速させる。ペリオ学者は一般に煙草を吸わない。実際大学内は禁煙だし、それでも吸おうとなると冬など白衣で氷点下の屋外に出ることになる。

講義以外の空いた時間を利用して、イエテボリ大学留学中のF先生が郊外の古城や運河を見渡す古い町並へと案内してくれた。

デンマークやスウェーデンには中世以来の美し

い城が数多く残っている。歴史の刻まれたインテリアと広大な庭園、それはまるで童話の世界から抜け出したばかりのような美しい佇まいを見せていた。



“ME TOO, ME TOO,”

なんといっても旅を攻略するには言葉の壁を乗り越える必要がある。外人アレルギーの私は、本当にこの言葉くらいしか話せなかったのだ。というのはショッピングセンターに買い物に出かけても同僚のC先生（日本でただ一人の？東大卒の歯科医師）の肩口から顔を出し、すべてこれで間に合わせたのである。

当然リンデ教授の英語の講義も通訳を通した後でしかジョークの内容を笑えない。人より遅れて、大声で笑っている。スウェーデンでは、アイスキャンディーの売り子の娘さんでも母国語とは別に英語で話す。リンデ教授も、カタカナ発音で“アイハブサムクエスチョンアバウト……”と質問する日本人にちゃんと答えてくれる。話す気さえあればいつでも会話はできるのだ。

F先生の友人でイエテボリの郊外に開業しているDr. マッツ邸に招待された。衛生士の奥さんと中学生のお嬢さんがいて、私たちを歓待してくれた。もちろん家族といえども私たちの前では英語でしか話さない。彼の診療室を見学して、診療形態



など聞かせていただいたが、彼の患者は付近住民約三千名、それがほとんどリコールのみで来院するそうだ。年に250日診療するとして、1日当たり十数名。それでいてあれだけのハイソサエティーな生活が営めるのかと勝手に思っていた。そのうちワインで夕食が始まり、奥さん手作りの魚料理をたらふく食べて大満足となった。

北欧の料理はザリガニがメインで、どこに行っても大小色とりどりでそれは見応えがある。しかし高級ホテルに行こうが、ドライブインに行こうが、こうザリガニばかりではいつでもお腹をこわしそうな状態が続き、治りそうもないのである。その中であって食べられる物は、奥さんの手料理(断じて魚料理であってザリガニではない)とイエテボリ大学の学食ランチ(といっても数あるバイキングメニューの中でポテトだけである)だけだったのだ。北欧では8月中旬を過ぎるといっせいにザリガニが解禁になるため、F先生によれば、普段スウェーデン人は乳製品を食べて大きくなるそうで、平均身長男子186cm、女子176cm。ちなみに私は1

75cm、ジュニアサイズである。それにしてもDr. マッツは、ほとんど話もできない私を、本当に歓迎してくださったのだ。

……なんていい人なんだ!!

大学の講義も終了し、教授より修了証を授与された。(我が人生最もアカデミックな瞬間?)そしてイエテボリともお別れとなる。



最終日にショッピングセンターで買い物をしていると、偶然Dr. マッツの奥さんと会ってしまった! 私は真っ赤になり汗をだらだら流しながら、一生懸命昨夜のディナーのお礼を述べようとしたが言葉にならない。奥さんは「気にしなくていいのよ。またいつでも来て下さいね」と言っているようだ。私が泡を吹いていると、奥さんは去ってしまった!!

招待されて挨拶もできず、手みやげも持たず次の日に会ってもお礼も言えず、私はなんて最低な日本人なんだ。よし日本に帰ったら、必ずお礼の手紙を書くぞ。そしてまたイエテボリで会うことができたなら、きちんと挨拶とお礼を言うぞ。と、固く決心したまま今日に至っている。



スポーツの広場



トーナン・デンタル・ゴルフ会

平成7年10月8日

20名

		O	I	G	H	N
優勝	宮崎 幸一	45	44	89	19	70
2位	宇都宮啓一	51	50	101	28	73
3位	本田 治夫	43	48	91	17	74
4位	森 一	43	46	89	14	75
5位	河野 生司	45	45	90	15	75
BB	内田 隆	50	41	91	8	83

平成7年11月19日

19名

		O	I	G	H	N
優勝	浜崎浩一郎	50	42	92	25	67
2位	安田 光則	41	40	81	12	69
3位	河野 敬明	42	45	87	15	72
4位	寺田 紘宇	50	41	91	19	72
5位	木村 洋	45	47	92	19	73
BB	青木 群育	50	58	108	22	86

平成7年12月17日

22名

		O	I	G	H	N
優勝	古賀 明	39	45	84	11	73
2位	青木 群育	48	47	95	22	73
3位	宮崎 幸一	46	44	90	17	73
4位	坂梨常太郎	43	40	83	10	73
5位	安田 光則	39	44	83	9	74
BB	河合 隆一	52	45	97	12	85

空港デンタル会

平成8年2月11日 ダブルリペア方式

25名

		O	I	G	H	N
優勝	甲斐 利博	47	40	87	15.6	71.4
2位	大嶋 健一	41	44	85	13.2	71.8
3位	中根 俊吾	54	54	108	34.8	73.2
4位	渡辺 博	43	43	86	12	74
5位	三笥 司	46	46	92	18	74
BB	市原 誓志	54	61	115	36	79

熊本デンタル

平成7年12月30日

空港カントリー

40名

		O	I	G	H	N
優勝	中原 孝	45	47	92	24	68
2位	渡辺 博	40	38	78	10	68
3位	千場 正昭	41	42	83	14	69
4位	角岡 秀明	40	42	82	12	70
5位	中島 義和	39	40	79	7	72
6位	林田 豊	43	41	84	12	72
7位	甲斐 利博	38	40	78	5	73
8位	神戸 威	44	41	85	12	73
9位	井尾 治雄	43	46	89	15	74
10位	尾上 宏	48	50	98	24	74

平成8年1月21日 空港カントリー

28名

		O	I	G	H	N
優勝	稲葉 逸郎	38	40	78	10	68
2位	中島 義和	38	41	79	10	69
3位	松本 真典	40	44	84	10	74
4位	渡辺 賢治	40	43	83	9	74
5位	大嶋 健一	41	43	84	10	74
BB	松本 謙一	54	56	110	18	92

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
12月21日	第88回理事会(会務、庶務、委員会報告、協議)
1月26日	第89回理事会()

口 腔 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月28日	12月6～7日の市立幼稚園フッ素塗布の件
12月14日	幼稚園フッ素塗布の反省 サンライフ老人の歯のコンクールの件 パールラインマラソン(3月10日)の件
1月24日	60才、70才のよい歯のコンクールの問題点について

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
12月 5日	学術講演会について 鑑別診断冊子について
1月12日	ビデオ研修会について 学術講演会について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
12月 1日	1年間の反省
12月18日	熊本市学校保健会誌について
1月12日	平成8年度学校歯科委員会事業計画について 小学校向け貸出ビデオ購入選定について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
11月29日	義歯取扱い説明書検討 社保指導者研修会質疑回答の検討
12月22日	入れ歯手帳作製の件 次回歯科点数改定の件
1月30日	入院・入所者歯科診療の件(1/31説明会について) 入れ歯手帳作製の件

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月17日	第3回熊本市歯科医師会親睦ゴルフ大会の反省 新年パーティー打合せ
12月19日	新年パーティー打合せ
1月18日	新年パーティー打合せ

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
11月14日	救急蘇生法講習会
12月 8日	熊本市職員歯科健診について
1月19日	税務申告説明会 (院内)掲示ポスター作製について 医療費控除制度及び消費税について 医院の広告について(内容の検討) ミニコミ誌歯科通信(広告)の対策 平成8年度税務カレンダー(4月～9年3月) 平成8年度計画及び予算について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
11月 8日	中岳91号編集
11月24日	かわら版12月号編集
11月30日	かわら版12月号校正 中岳91号第1回校正
12月11日	中岳91号第2回校正
12月22日	かわら版1月号編集
1月19日	吉川先生(支払基金専任審査委員)との対談
1月29日	かわら版2月号編集 中岳92号企画目次作製
2月 5日	中岳92号原稿チェック
2月13日	中岳92号編集

～ 協同組合だより ～

まず水を換えよう!!

万病の原因として注目を集める活性酸素が「水」で消えた!活性酸素の害を抑えれば、ガンリスクを減らすことができ、成人病や老化の予防にも効果がある。電解水生成器でつくられる「還元水」は、実はあらゆる病気を防ぎ、治す可能性を秘めた偉大な水・最良の活性酸素消去剤・抗酸化水だった。

電解水生成器に関する問い合わせ・資料請求は

熊本県歯科医師協同組合

(有) K D M U

TEL 096-343-6400

FAX 096-343-0623

編 集 後 記

今年の冬は10年ぶりの寒さだったそうで、我が家でも二回水道管が凍りました。診療所の方では水道が凍ると診療に支障をきたすので心配しましたが、一度も凍りませんでした。昨年、自宅周辺で水道管の埋め替え工事があり、それ以来、夏は水が生ぬるく、冬は極端に冷たい気がします。診療所の方の水道水はそれほど温度差がないように思います。私の個人的な推測に過ぎませんが、埋め直された水道管が浅い(道路のコンクリートのすぐ下?)などなんらかの原因があるのではないのでしょうか。今年になって診療所前の道路の側溝工事が始まりました。当歯科には事前に何の説明もなかったので役所の建設課に説明を求め、話し合いをしました。「できるだけ診療に支障がないように善処する」とのことでしたが、通院患者さんの車が通れなかったり、工事中に水道管の破裂で断水したり、診療にいろいろと支障がありました。はぎ取られたアスファルトの張り替えが終り、やっと工事も終了しそうですが、道路に埋め込んである水道管の工事は今回はしないそうです。何年後かに、今度は水道管の工事で道路がまたほじくり返され、その結果、水道水が夏生ぬるく冬冷たくなってしまうのでしょうか?

さて、4月から保険点数の改正が行われます。中医協の中では歯科の厳しい現状を訴え要求が通るよう努力されていると思いますが、今回の引き上げ?では、歯科開業医の経営状況が改善されるとは到底思えません。改正に際していつも財源問題が持ち出されますが、公共事業費のことを考えると大きな矛盾と憤りを感じてしまいます。(直接関係はありませんが、国民総医療費よりもパチンコ業界の総売り上げ高が上回るそうです!!)

何かと頭に来ることが多い昨今ですが、取りあえず保険点数の改正の説明会に参加してきっちり勉強し、気持ちを切りかえて、日頃なかなか十分な取り組みができていないペリオ関係などの保険システムに習熟し、自分の診療スタイルも再点検するきっかけにしたいものです。

(T. H)

熊本市歯科医師会会誌

第 92 号

発行日 平成 8 年 3 月 25 日 発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本 2 丁目 1-30

TEL 096-356-6433 FAX 096-311-1388